

高等学校家庭科住生活分野ワークシート

<はじめに>

「生活の器」と言われるよう、住まいは私たちの生活を危険から守り心身の健康と安らぎを与えてくれる重要な場であります。しかし、シックハウス症候群や家庭内事故、地震等の自然災害、近隣とのトラブルなど私たちを危険にさらす一面も持っています。そのため、安全で健康な生活をしていく知識や技術を取得しておく必要があります。

しかし、住生活分野の学習は、家庭科の単位数の減少などにより授業時間の確保が困難であることや、「何を教えたらいいのか」という教員自身の問題、また生徒のプライバシーに立ち入るため扱いにくいなど、様々な問題を抱え、十分な学習が行われていない現状です。これは高等学校だけではなく、小学校や中学校での学習でもいえることです。そのため学習者は、住生活分野の知識や技術等を学習する機会が十分とは言えない状況です。

そこで、これらの問題点に着目し、①限られた時間でも基礎的な知識の習得が行え、②問題発見・解決を行うことで生徒が主体的な学習ができ、③実生活への還元を目指すワークシートの開発を行いました。

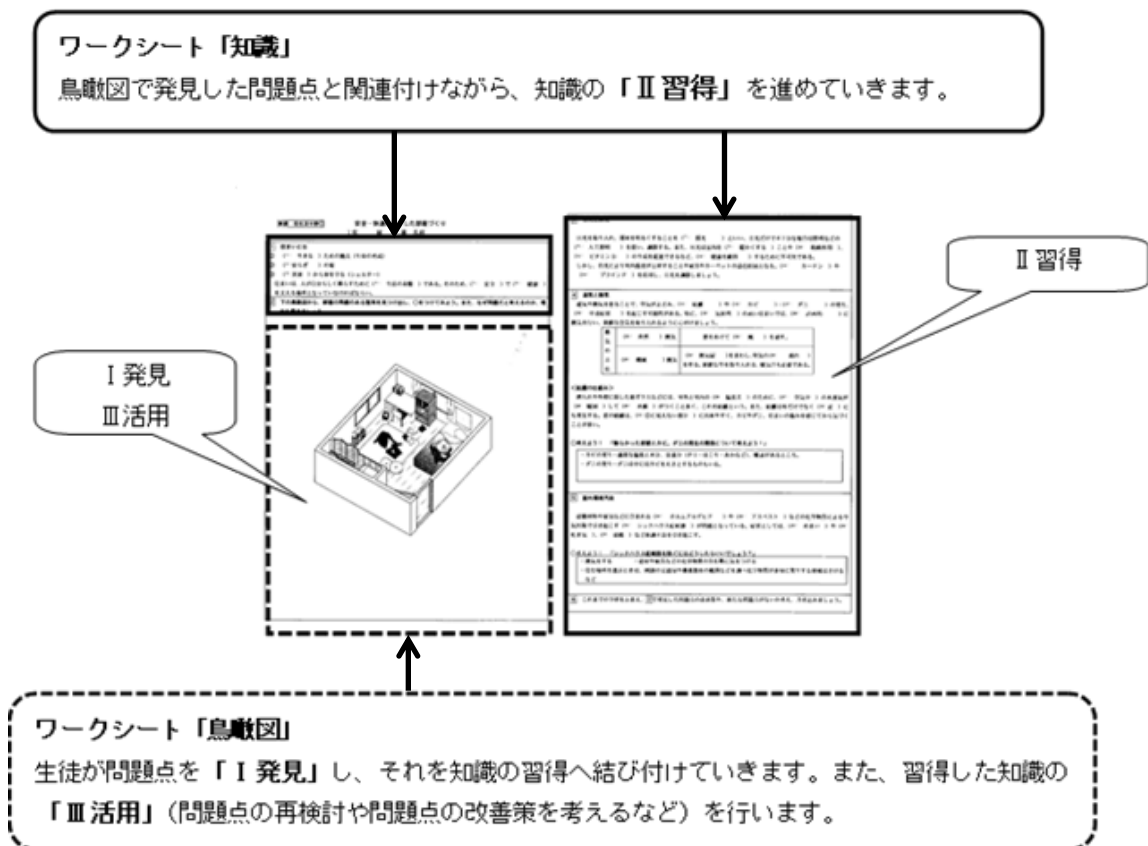
本ワークシートは、3度の授業実践で得た評価や、兵庫県下の高等学校家庭科教員の方々
の評価を反映させております。

まだまだ不十分な点があるかとは存じますが、住生活分野の学習のお役にたつことができれば幸いです。

平成24年2月吉日
兵庫教育大学大学院
浅野三奈（院生）

<ワークシートの特徴について>

- ①新学習指導要領（平成 21 年告示、平成 25 年より施行）住生活分野における学習目標である「安全で環境に配慮した住生活を営むことができる」を達成する学習内容になっています。
- ②学習構成は教科書の学習構成とは違い、生徒の身近な「部屋」から学習を始め、「家」「地域」と学習していく構成になっています。
- ③鳥瞰図から、それぞれ問題点を自ら発見し、知識を習得し、最後に習得した知識を活用し問題点の改善策や新たな問題点を見つける「Ⅰ発見・Ⅱ習得・Ⅲ活用」の学習のサイクルを用いた展開となっています。
- ④指導時間の目安ですが、全 6 時間程度を要するものになっています。
- ⑤授業時間数や生徒の実態に応じて学習内容の追加・部分的な活用など、自由に行うことができます。（深めたい内容に関する補足資料を作成し授業を行った例もあります。）



<ワークシート教材の一覧>

○指導案（略案）

ワークシートを使用した授業の例を提示しています。

○ワークシート①②③（穴埋め式）

ワークシートの知識部分が（ ）の穴埋め方式になっています。

○ワークシート①②③（論述式）

ワークシートの知識部分には学習項目のみを提示し板書を書き込めるようになっています。

○ワークシート①②③（模範解答）

ワークシートの回答を朱書きしたものです。

○教科書対応表

ワークシートの学習内容と教科書との対応が書かれた表です。

○ワークシートの使用に関する提案

ワークシートをより使いやすくする提案をしています。

○鳥瞰図の提示方法事例集

鳥瞰図をカラーや拡大提示し授業に使用する際の事例集です。

※鳥瞰図のみのデータを用意していますが、こちらのファイルには含まれておりません。

高等学校家庭科学習指導案

1、題材名「わたしたちの住生活と地域～安全で環境に配慮した住まい・地域づくり～」

2、題材の目標

・家庭や地域の一員として、安全・環境に配慮した住生活を主体的に営む力を身につける。

<評価規準>

- ・安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、習得した知識を生活に活かそうとする。
(関心・意欲・態度)
- ・住生活や地域の現状および問題を把握すると同時に、安全で環境に配慮した住生活を理解する。
(知識・理解)
- ・住生活や地域生活における安全や環境に配慮した住生活の営み方について考える。
(思考・判断・表現)

3、指導計画（全6時間）

第1次	安全・快適をめざした部屋づくり	2時間
第2次	安全・快適をめざした家づくり	2時間
第3次	安全・環境に配慮した地域づくり	2時間

4、学習活動の流れ

※時間数はあくまでも目安です。

次	時間	学習活動	準備物
第1次 2時間	1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの意義について考える。 I 問題の「発見」 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥瞰図から部屋の問題点を見つけ、問題だと思う理由を書く。 II 知識の「習得」 <ul style="list-style-type: none"> ・日照と採光について学ぶ。 ・通気と換気について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①
	2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境汚染について学ぶ。 III 習得した知識の「活用」 <ul style="list-style-type: none"> ・学習をふまえて問題点の改善策や他に問題点がないかを考える。 	
第2次 2時間	1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・LDKについて考える I 問題の「発見」 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥瞰図から家の問題点や危険箇所を見つけ、問題だと思う理由を書く。 II 知識の「習得」 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート②
	2時間目	II 知識の「習得」 <ul style="list-style-type: none"> ・住まいと災害について学ぶ。 ・住まいの維持管理について学ぶ。 III 習得した知識の「活用」 <ul style="list-style-type: none"> ・学習をふまえて問題点の改善策や他に問題点がないかを考える。 	
第3次 2時間	1時間目	I 問題の「発見」 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥瞰図より、地域の良いところ、問題であるところを見つけ出し、理由を書く。 II 知識の「習得」 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した住まい方について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート③
	2時間目	II 知識の「習得」 <ul style="list-style-type: none"> ・騒音について学ぶ。 ・地域の一員として住むについて学ぶ。 ・地域に関わる法令について学ぶ。 III 習得した知識の「活用」 <ul style="list-style-type: none"> ・学習をふまえて問題点の改善策や他に問題点がないかを考える。 ・学習のまとめをする。 	

住生活分野 ワークシート①～③

() 形式

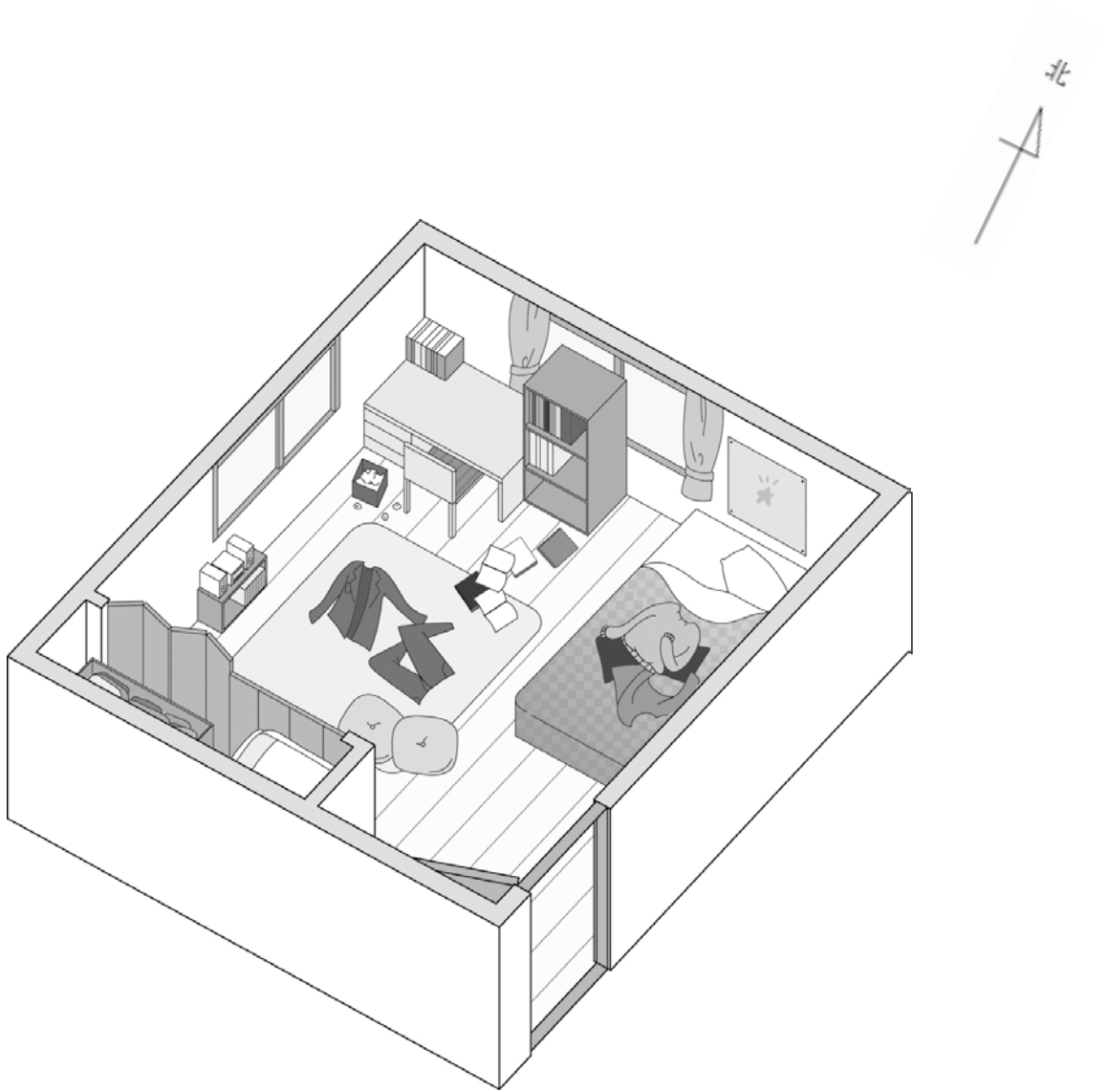
1 住まいとは

① (1:) ための拠点 (生命の育成)

② (2:) の場

③ (3:) から身を守る (シェルター)

住まいは、人が自分らしく暮らすための (4:) である。そのため、(5:) で (6:) を支える場所となっていなければならない。



3 日光と採光

日光を取り入れ、部屋を明るくすることを（7： ）といい、日光だけで不十分な場合は照明などの（8： ）を使い、調節する。また、日光は室内を（9： ）ことや（10： ）、（11： ）の生成を促進できるなど、（12： ）するために不可欠である。しかし、日光により室内温度が上昇することや家具やカーペットの退色原因となる。（13： ）や（14： ）を活用し、日光を調節しましょう。

4 通気と換気

通気や換気を怠ることで、空気がよどみ、（15： ）や（16： ）・（17： ）の発生、（18： ）を起こす可能性がある。特に、（19： ）の高い住まいでは、（20： ）に換気を行い、新鮮な空気を取り入れるように心がけましょう。

換 気 の 方 法	（21： ）換気	窓をあけて（22： ）を通す。
	（23： ）換気	（24： ）をまわし、空気の（25： ）を作る。新鮮な空気を取り入れる吸気口も必要である。

<結露の仕組み>

押入れや外壁に面した窓ガラスなどに、室外と室内の（26： ）により、（27： ）の水蒸気が（28： ）し、（29： ）が発生する。これを結露という。また、結露は冬だけでなく（30： ）にも発生する。夏の結露は、（31： ）にできやすく、カビやダニ、住まいの傷みを感じてから気づくことが多い。

○考えよう！ 「散らかった部屋とカビ・ダニの発生の関係について考えよう！」

5 室内環境汚染

建築材料や家具などに含まれる（32： ）や（33： ）などの化学物質による空気汚染で引き起こす（34： ）が問題となっている。症状としては、（35： ）や（36： ）、（37： ）など体調不良を引き起こす。

○考えよう！ 「シックハウス症候群を防ぐにはどうしたらいいでしょう？」

6 これまでの学習をふまえ、2で発見した問題点の改善策や、新たな問題点がないか考え、書き込みましょう。

1 LDKってなんだろう??

L… (1:) D… (2:) K… (3:)
 LDK の先頭にきている数字は (4:) の数を表している。鳥瞰図の家は、(5:) LDK である。

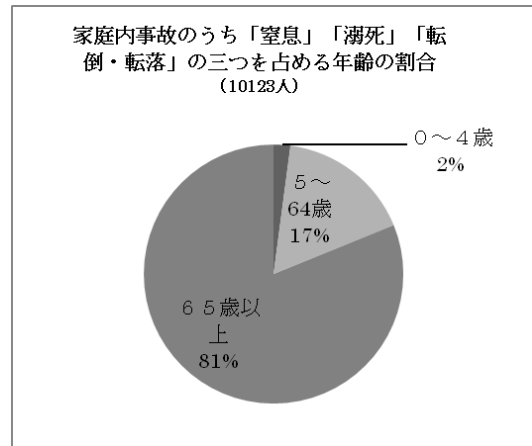
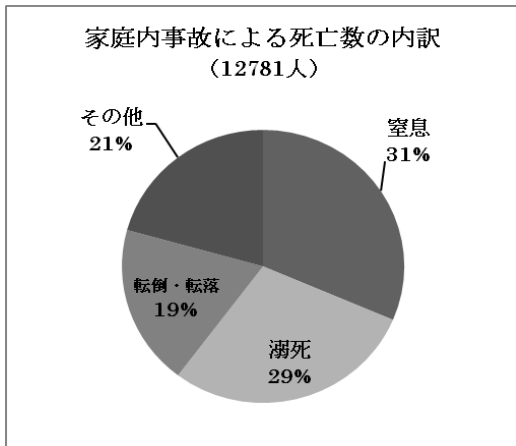
2 鳥瞰図から、家の危険な箇所や問題点を見つけ出し、○をつけてみよう。また、なぜ危険だと考えるのか、理由も書きましょう。

3 家庭内事故について

住まいでの事故は多く、年間に (6:) 以上にものぼる人が家庭内事故で死亡している。

<事故の原因>

- ① 当事者の不注意
- ② 住まいの構成や設備の不備
- ③ _____



出典：人口動態調査 厚生労働省

- ・身体機能が未熟な (7:) は事故が多い。
- ・身体機能が低下している (8:) の死亡者数が多い。
- ・(9:) などへの配慮が必要。

自分の (10:) だけでなく、共に暮らす (11:) の目線にも立ち、住まいの安全を考えていく必要がある。

☆住む人にやさしい住まいの提案

- ・(12:) : 高齢者や障害のある人の障害となる部分を取り除くこと。
- ・(13:) : 全ての人の使いやすさを目指して考えられたデザインのこと。
- ・(14:) : 誰もが普通に生活できる理念のこと。

4 災害と住まい

災害の種類

	災害の種類	具体例
災害	(15:) 災害	・地震 ・洪水 ・なだれ ・災害によるライフラインの破壊
	(16:) 災害	・火災 (放火) ・空き巣 ・強盗

☆防災をすることはもちろんだが、もしもの災害にむけ日頃から (17:) をしておくことも必要である。

○考えよう！ 「自然災害や人為災害にむけてどのような「備え」が必要だろうか？」

5 住まいの維持管理

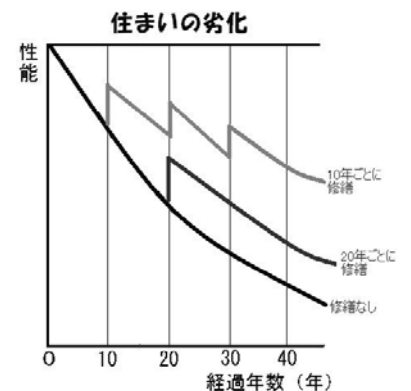
(18:) が不十分であると、住宅の (19:) を短くすることや、自然災害に対応しきれず、(20:) な生活が守れなくなってしまう。

<劣化の要因>

○考えよう！ 「住まいのどのような部分の点検が必要でしょうか？」

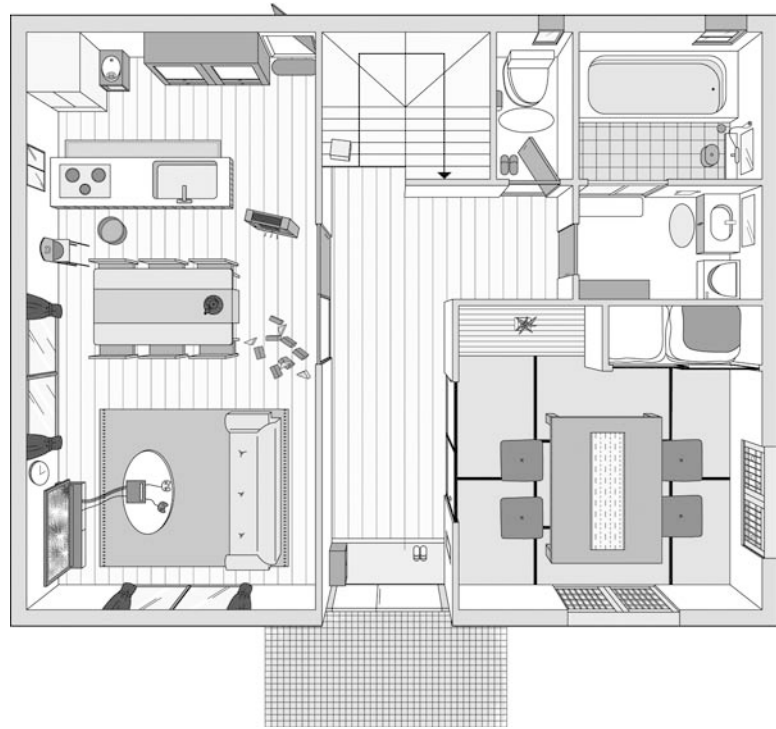
☆集合住宅での維持管理

- ・定期的に (21:) することで、住まいの寿命を長く保ちましょう。
- ・集合住宅の場合は、(22:) や (23:) を行い、住民全体で管理をしていく必要がある。

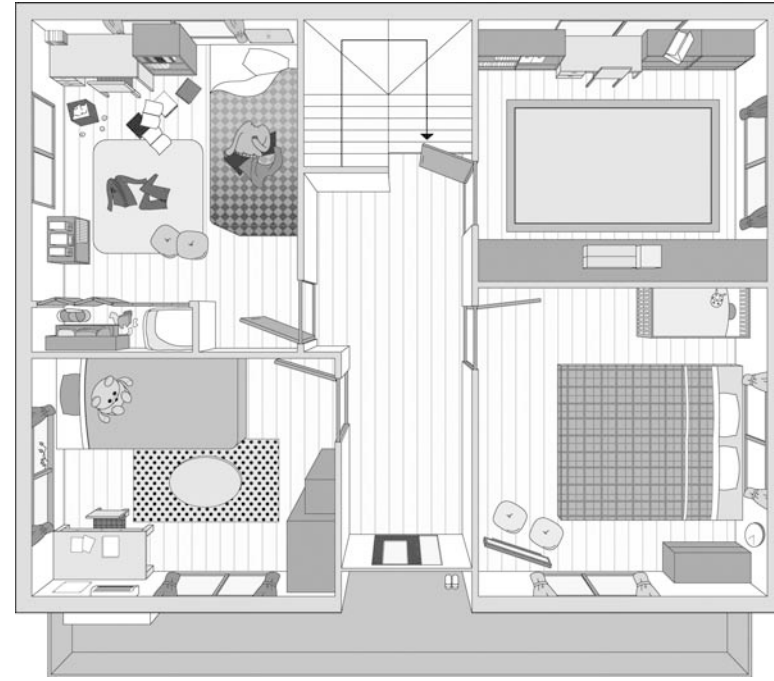


6 これまでの学習をふまえ、2で発見した問題点の改善策や新たな問題点がないか考え、鳥瞰図に書き込みましょう。

2 下の鳥瞰図から、家の危険な箇所や問題点を見つけ出し、○をつけてみよう。また、なぜ危険だと考えるのか、理由も書きましょう。



1階



2階

- 1 下の図は、とある地域の生活の様子です。地域の人はどうなことをしているでしょうか。また、どのような建物があるでしょうか。自分が「よい」と感じたことには○、問題だと感じたことに×をつけ、理由を書きましょう。



2 環境に配慮した住まい

1、日本の住まい

日本の気候は(1:)で(2:)地域である。そのため、木造で(3:)な住まいが主流であった。しかし、現在では、(4:)などの発達にともない、簡単に室内環境を整えることができるため、日本中に同じような家が建つようになった。しかし、設備機器を使うことにより、電機やガスなどのエネルギーを大量消費し、環境へ(5:)がかかっているのである。

2、環境に配慮した住まい

(6:)…周辺の自然環境と調和し、健康で快適に生活ができるように工夫された住宅及びその地域環境のことをいう。

①(7:)の保全…(8:)

②(9:)との調和…(10:)

③健康的で快適な居住形態の形成…(11:)

☆パッシブソーラーシステム…太陽エネルギーを、集熱器などを使わずに直接住まいに取り入れ、内部でエネルギーを上手に利用して環境調整を図るシステムのこと。

○考えよう！「あなたにできるエコを考えよう」

[]

3 騒音

私たちは、音に囲まれて生活をしている。音の感じ方には(12:)があり、同じ音でも不快に思う人もいれば、心地よいと捉える人もいる。

遮音の方法	
-------	--

生活をしている以上、音の発生をなくすことはできないが、自分が周りの人の迷惑となる音の(13:)とならないように配慮し、意識して工夫することで、騒音を軽減することができる。

4 地域の一員として住む

都市やその近郊では、地域や近隣の間人間関係が(14:)になっている。しかし、災害などの(15:)や防犯に対して、(16:)でとりあって取り組むことが望ましい。そのため、日ごろから、地域の人と交流をし、(17:)を形成することが必要である。

また、地域の活性化や地域環境の整備を目的とし、住民が自分たちの住むまちを(18:)に点検したり、話し合ったり、さまざまな作業を通して、まちのあり方を具体化していくことを(19:)という。それに加え、地域にあった(20:)を考え守ることで、気持ちよく生活を送りましょう。

5 住生活に関わる法令

住宅や都市の計画的な整備を進めるために、さまざまな(21:)が用意されている。

<法制度の例>

*建築基準法：建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する(22:)を定めて、国民の生命や健康、財産の保護を図ることを目的とした法律。

*都市計画法：(23:)で(24:)な生活ができるように、計画的な市街地開発や道路・公園・下水道などの施設設備の基本的なあり方を定めた法律。

*景観緑三法：都市や農山漁村などにおける良好な環境の形成や景観の形成、(25:)などに関わる法律。

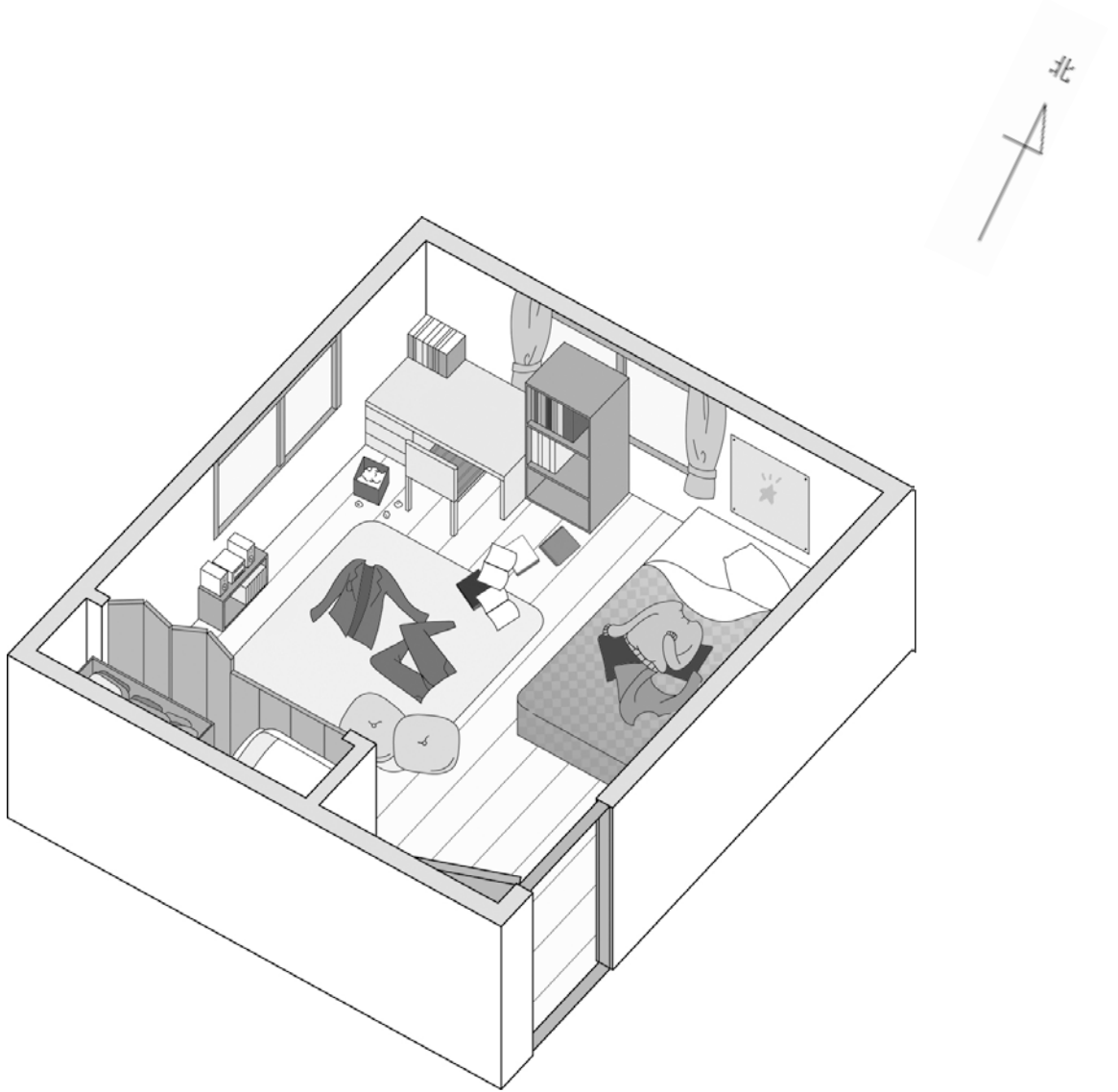
6 これまでの学習をふまえ、1で発見した問題点の改善策や、新たな問題点や良い点がないか探し、鳥瞰図に書き込みましょう。

住生活分野 ワークシート①～③

論述形式

1 住まいとは

2 下の鳥瞰図から、部屋の問題のある箇所を見つけ出し、○をつけてみよう。また、なぜ問題だと考えるのか、理由も書きましょう。



3 日光と採光

4 通気と換気

5 室内環境汚染

6 これまでの学習をふまえ、2で発見した問題点の改善策や、新たな問題点がないか考え、書き込みましょう。

1 LDKってなんだろう??

2 鳥瞰図から、家の危険な箇所や問題点を見つけ出し、○をつけてみよう。また、なぜ危険だと考えるのか、理由も書きましょう。

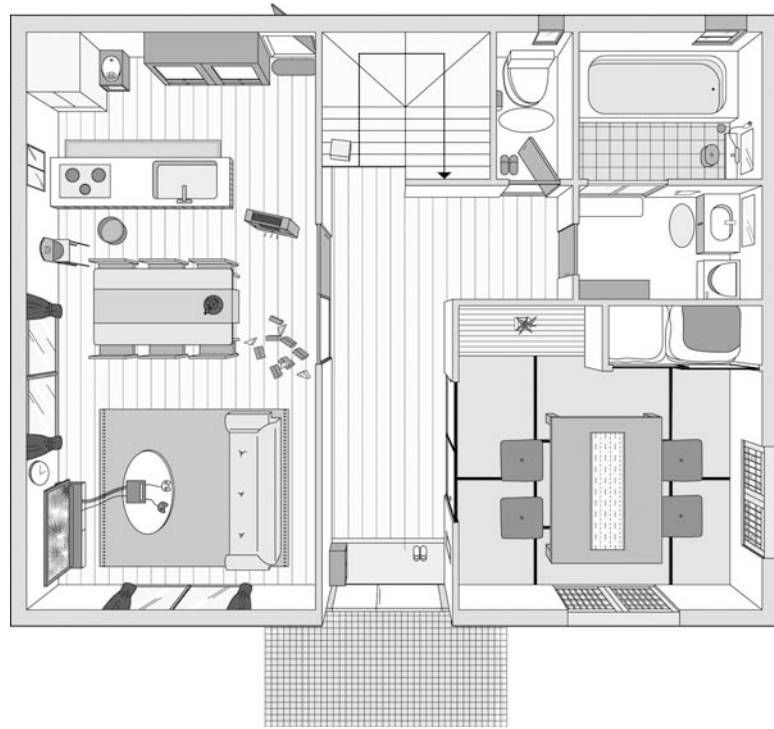
3 家庭内事故について

4 災害と住まい

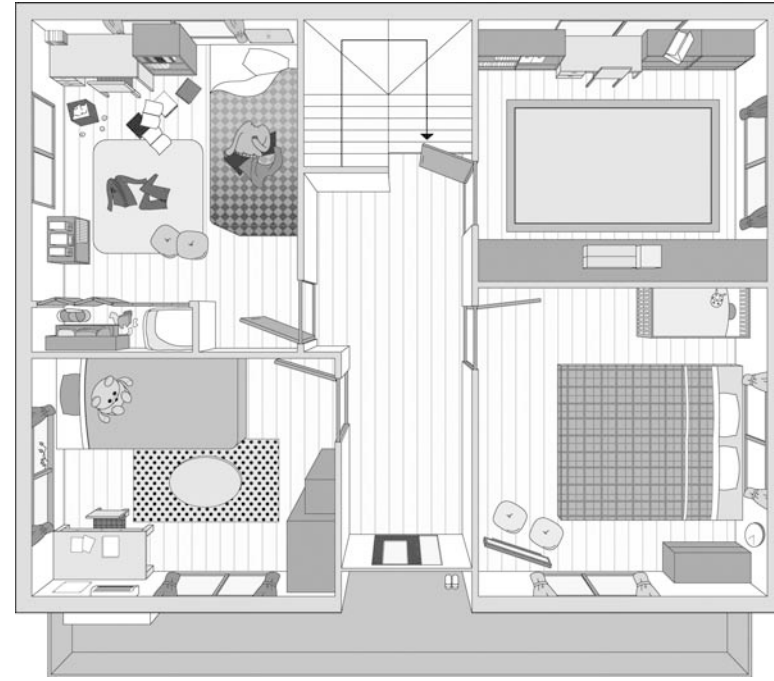
5 住まいの維持管理

6 これまでの学習をふまえ、2で発見した問題点の改善策や新たな問題点がないか考え、鳥瞰図に書き込みましょう。

2 下の鳥瞰図から、家の危険な箇所や問題点を見つけ出し、○をつけてみよう。また、なぜ危険だと考えるのか、理由も書きましょう。



1階



2階

- 1 下の図は、とある地域の生活の様子です。地域の人はどうなことをしているでしょうか。また、どのような建物があるでしょうか。自分が「よい」と感じたことには○、問題だと感じたことに×をつけ、理由を書きましよう。



2 環境に配慮した住まい

1、日本の住まい

2、環境に配慮した住まい

3 騒音

4 地域の一員として住む

5 住生活に関わる法令

6 これまでの学習をふまえ、1で発見した問題点の改善策や、新たな問題点や良い点がないか探し、鳥瞰図に書き込みましょう。

住生活分野 ワークシート①～③

模範解答

1 住まいとは

- ① (1: **生きる**) ための拠点 (生命の育成)
- ② (2: **安らぎ**) の場
- ③ (3: **災害**) から身を守る (シェルター)

住まいは、人が自分らしく暮らすための (4: **生活の基盤**) である。そのため、(5: **安全**) で (6: **健康**) を支える場所となっていなければならない。

2 下の鳥瞰図から、部屋の問題のある箇所を見つけ出し、○をつけてみよう。また、なぜ問題だと考えるのか、理由も書きましょう。

<窓の前の本棚>
 ○ 通気と換気に関する項目
 理由: 窓があけにくい
 しめりやすい場所
 (本棚にカビが発生するおそれがある)
 改善策: 本棚の移動
 本棚の置き方をかえる

○ 日光と採光に関する項目
 理由: 本棚により、日光がささげられない
 改善策: 本棚の移動
 本棚の置き方をかえる

<免強机>
 ○ 日光と採光に関する項目
 理由: 手元が暗い
 採光しにくい場所に机がある
 改善策: 人工照明を置く
 (電卓スタンド)
 机の位置をかえる。

**北向きの窓.. 一日を通して一定の
 光を取り込むことができる。
 (芸術作品などが寝室などに
 使われることが多い)**

<西向きの窓>
 ○ 日光と採光に関する項目
 理由: 日光の調節が難しい。
 改善策: カーテンやブラインドの設置
 夏場であれば、すだれやよしずを使用して
 外側から日光を調節する。
 ※ 西日はまぶしく感じやすい。また、昼間の熱と夕方の
 日射により、室温が上昇する。

<散らかった部屋>
 ○ 導入に関する項目
 理由: 室内環境に良くない
 汚れている
 改善策: 整理整頓をする etc..

○ 除湿・カビの発生に関する項目
 ※ ワークシート④「考えよう」に該当する
 理由: 除湿・カビの発生の原因に
 なる。
 改善策: 片付け、掃除、換気 etc..

<クロゼット>
 ○ 除湿・カビの発生に関する項目。
 ※ ワークシート④「考えよう」に該当する
 問題点として、あつかいなくてもよい。
 クロゼットや押し入れは、湿りやすい場所であるため、
 換気や風通しをよくすることを伝える。

3 日光と採光

日光を取り入れ、部屋を明るくすることを（7： 採光 ）といい、日光だけで不十分な場合は照明などの（8： 人工照明 ）を使い、調節する。また、日光は室内を（9： 暖かくする ）ことや（10： 殺菌作用 ）、（11： ビタミンD ）の生成を促進できるなど、（12： 健康を維持 ）するために不可欠である。しかし、日光により室内温度が上昇することや家具やカーペットの退色原因となる。（13： カーテン ）や（14： ブラインド ）を活用し、日光を調節しましょう。

4 通気と換気

通気や換気を怠ることで、空気がよどみ、（15： 結露 ）や（16： カビ ）・（17： ダニ ）の発生、（18： 中毒症状 ）を起こす可能性がある。特に、（19： 気密性 ）の高い住まいでは、（20： 計画的 ）に換気を行い、新鮮な空気を取り入れるように心がけましょう。

換気の方法	（21： 自然 ）換気	窓をあけて（22： 風 ）を通す。
	（23： 機械 ）換気	（24： 換気扇 ）をまわし、空気の（25： 流れ ）を作る。新鮮な空気を取り入れる吸気口も必要である。

<結露の仕組み>

押入れや外壁に面した窓ガラスなどに、室外と室内の（26： 温度差 ）により、（27： 空気中 ）の水蒸気が（28： 液化（凝結） ）し、（29： 水滴 ）が発生する。これを結露という。また、結露は冬だけでなく（30： 夏 ）にも発生する。夏の結露は、（31： 目に見えない部分 ）にできやすく、カビやダニ、住まいの傷みを感じてから気づくことが多い。

○考えよう！ 「散らかった部屋とカビ・ダニの発生の関係について考えよう！」

- ・部屋の汚れや衣服の散らかりなど、ダニ・カビの発生の条件がそろっている。
- カビの発生…適度な温度と水分、栄養分（チリ・ほこり・あかなど）、酸素があるところ。
- ダニの発生…ダニの中にはカビをえさとするものもいる。

5 室内環境汚染

建築材料や家具などに含まれる（32： ホルムアルデヒド ）や（33： アスベスト ）などの化学物質による空気汚染で引き起こす（34： シックハウス症候群 ）が問題となっている。症状としては、（35： めまい ）や（36： 吐き気 ）、（37： 頭痛 ）など体調不良を引き起こす。

○考えよう！ 「シックハウス症候群を防ぐにはどうしたらいいでしょう？」

- ・換気をする
- ・建材や家具などの化学物質の含有量に気をつける
- ・住む場所を選ぶときは、周囲の交通量や農薬散布の範囲などを調べ化学物質が多量に発生する地域はさけるなど

6 これまでの学習をふまえ、2で発見した問題点の改善策や、新たな問題点がないか考え、書き込みましょう。

1 LDKってなんだろう??

L… (1: **リビング**) D… (2: **ダイニング**) K… (3: **キッチン**)

LDK の先頭にきている数字は (4: **私室**) の数を表している。鳥瞰図の家は、(5: **5**) LDK である。

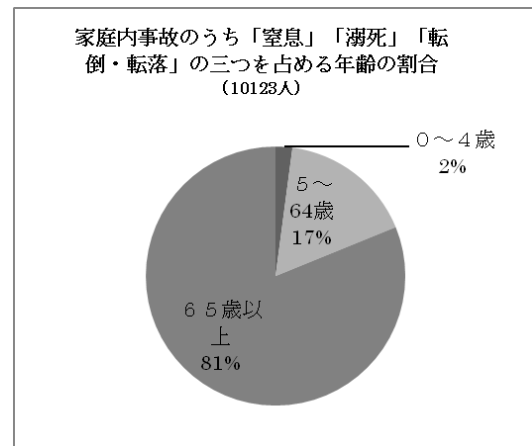
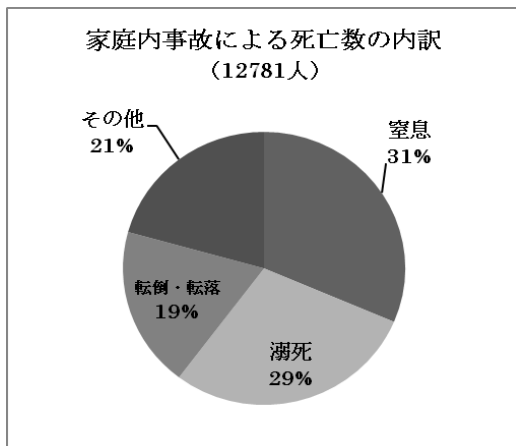
2 鳥瞰図から、家の危険な箇所や問題点を見つけ出し、○をつけてみよう。また、なぜ危険だと考えるのか、理由も書きましょう。

3 家庭内事故について

住まいでの事故は多く、年間に (6: **約 12000 人**) 以上にものぼる人が家庭内事故で死亡している。

<事故の原因>

- ① 当事者の不注意
- ② 住まいの構成や設備の不備
- ③ **身体的要素**



出典：人口動態調査 厚生労働省

- ・身体機能が未熟な (7: **幼児**) は事故が多い。
- ・身体機能が低下している (8: **高齢者**) の死亡者数が多い。
- ・(9: **障害者・病人・けが人・妊婦**) などへの配慮が必要。

自分の (10: **目線**) だけでなく、共に暮らす (11: **家族**) の目線にも立ち、住まいの安全を考えていく必要がある。

☆住む人にやさしい住まいの提案

- ・(12: **バリアフリー**) : 高齢者や障害のある人の障害となる部分を取り除くこと。
- ・(13: **ユニバーサルデザイン**) : 全ての人の使いやすさを目指して考えられたデザインのこと。
- ・(14: **ノーマライゼーション**) : 誰もが普通に生活できる理念のこと。

4 災害と住まい

災害の種類

	災害の種類	具体例
災害	(15: 自然) 災害	・地震 ・洪水 ・なだれ ・災害によるライフラインの破壊
	(16: 人為) 災害	・火災 (放火) ・空き巣 ・強盗

☆防災をすることはもちろんだが、もしもの災害にむけ日頃から (17: 備え) をしておくことも必要である。

○考えよう! 「自然災害や人為災害にむけてどのような「備え」が必要だろうか?」

- ・(地震に備えて) 家具の固定
- ・(自然災害など避難に備えて) 避難経路の確認や持ち出し袋の準備
- ・ホームセキュリティの設置など防犯をする。
- ・出かけるときは火の元の確認をする など

5 住まいの維持管理

(18: メンテナンス) が不十分であると、住宅の (19: 寿命) を短くすることや、自然災害に対応しきれず、(20: 安全) な生活が守れなくなってしまう。

<劣化の要因>

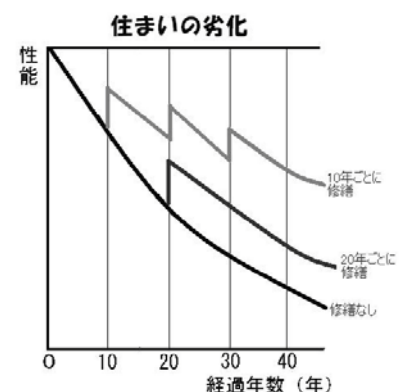
日光 ・ 風雨 ・ ほこり ・ 害虫

○考えよう! 「住まいのどのような部分の点検が必要でしょうか?」

- ・水道管のつまり
- ・エアコンのフィルター汚れ
- ・押入れやタンスのカビ
- ・雨どいのつまり など

☆集合住宅での維持管理

- ・定期的に (21: 点検) することで、住まいの寿命を長く保ちましょう。
- ・集合住宅の場合は、(22: 管理組合) や (23: ルール作り) を行い、住民全体で管理をしていく必要がある。



6 これまでの学習をふまえ、2で発見した問題点の改善策や新たな問題点がないか考え、鳥瞰図に書き込みましょう。

安全・快適をめざした家づくり
鳥取回模範解答②

2 下の鳥瞰図から、家の危険な箇所や問題点を見つけ出し、○をつけてみよう。また、なぜ危険だと考えるのか、理由も書きましよう。

<ついでにのストロブ>

○ 家庭内事故に関する項目
理由: 空気が汚染により窒息死を
まねくおそれがある。
改善策: ついでにのストロブに
換気を十分に行う

○ 災害と住まいに関する項目
理由: 火事の原因には
改善策: 人がいない時は
消す。

<階段に置いてある本>

○ 家庭内事故に関する項目
理由: 転落転倒による怪
おそれがある。
改善策: 階段にものは
あけない。

<内開きのドア>

○ 家庭内事故に関する項目
○ 住まいの維持管理に関する項目
理由: 中々人が倒れ
改善策: 外開きにする
救急が速い。

<お風呂の家庭内事故に関する項目>

理由: 床がすべり、転倒する
お風呂のぼりぼりなど、子どもが
可能転倒するお風呂、
浴槽内ですべり、溺れる

改善策: 手すりの設置
すべりにめい設置

<テラコッタのタイル>

○ 家庭内事故に関する項目
理由: テラコッタのタイルは
滑りやすく、
また、タイルの中央が
凹んでいる場合、タイルに
おぼりがある。
改善策: テラコッタのタイル
をかきの置き場と
かき。

<キッチンマット>

○ 家庭内事故に関する項目
理由: おしよすべり
改善策: すべり止め設置

<出っぱなしのゲーム機>

○ 家庭内事故に関する項目
理由: (コードに足をとって)
改善策: 使用していない時は
使用中でも、他人の迷惑を
考慮。

<洗面所の床>

○ 災害と住まいに
関する項目。
理由: 地震で倒れた
場合、避難経路
がふさがれる。
改善策: 家具の固定
他の場所へ避難

<傾いたガラス>

○ 住まいの維持管理に
関する項目。
理由: 傾いたガラスは
雨風が家の中
はいつく。
改善策: ガラスの
住まいの点検

<床の間のカーペット>

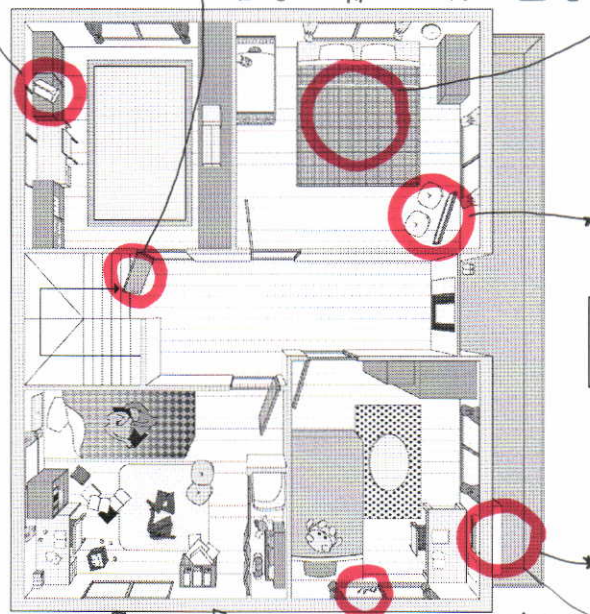
○ 家庭内事故に関する項目
理由: 幼児がこぼした
改善策: 置く位置や高さを
かきん素材を考慮

<木の角>

○ 家庭内事故に関する項目
理由: 幼児が頭をぶつけ
危険
改善策: 角にカーペット
を貼る。

<散らかった積み木>

○ 家庭内事故に関する項目
理由: 幼児の誤飲
改善策: 幼児の手の届かない
ところに置く。



<本棚の土の箱>

○ 災害と住まいに関する項目
理由: 地震の時に
改善策: 落下防止
おかしな

<外開きのドア>

○ 家庭内事故に関する項目
○ 住まいの維持管理に関する
項目
理由: 階段を
改善策: ドアの向きを
アコーディオンカーテン
の向きを確認して
表示。

<ベッドの位置>

○ 災害と住まいに関する項目
理由: 地震の時に
改善策: 地震
改善策: 地震
改善策: 地震

<床の上のサツト>

理由: (おもちゃ)
改善策: 片付ける

<リビングの室外機>

○ 家庭内事故に関する項目
理由: (子どもが) 室外機に
登り、落下
改善策: 上に登
改善策: 上に登
改善策: 上に登

この家の家具は固定されて
います。

1 下の図は、とある地域の生活の様子です。地域の人はどんなことをしているでしょうか。また、どのような建物があるでしょうか。自分が「よい」と感じたことには○、問題だと感じたことに×をつけ、理由を書きましよう。

<景観を損ねる家> ×

○住生活に関する法令に関する項目

理由: 周囲の家と調和していない
景観を損ねている。

改善策: 景観に関するルールを作る。

<スロープのある公民館> ○

○地域の一員として住むに関する項目

理由: 高齢者が使いやすいように設計されている。
(バリアフリー)

※他にも、バリアフリーが必要な箇所がほかを探してほしい。

<地域行事> ○

○地域の一員として住むに関する項目

理由: 地域コミュニティーができていて仲がいい。

<屋上緑化の家> ○

○環境に配慮した住まいに関する項目

理由: 環境のことを考えている
自然エネルギーの有効活用

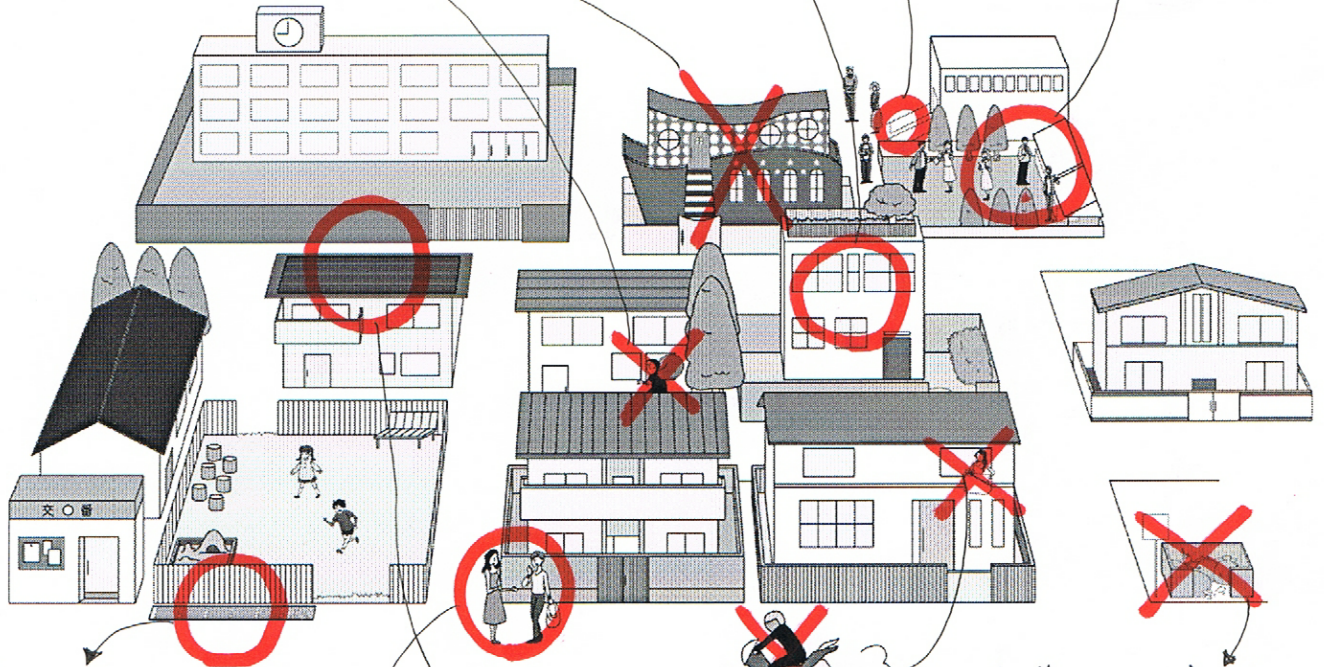
<ドロボウ> ×

○地域の一員として住むに関する項目

理由: 地域の関係性が弱く、
ドロボウにはいられてしまう。

改善策: 地域がまとわりをする。
地域コミュニティーの強化

※ワークシート②④の復習をかねてほしい。



<点字ブロック> ○

○地域の一員として住むに関する項目

理由: 地域住民全員が住みやすい
バリアフリー

※ワークシート②④の復習をかねてほしい。

<ソーラーパネル> ○

○環境に配慮した住まいに関する項目

理由: 環境のことを考えている
省エネ
自然のエネルギーを有効活用している。

<ゴミステーション> ×

○地域の一員として住む。
住生活に関する法令に関する項目。

理由: ゴミの出し方が悪い
分別をしてゴミ出しをするべき。

改善策: ゴミの出し方を守る
ゴミの出し方のルールをつくる
地域で「ゴミの出し方の確認」をする

<井戸端会議> ○

○地域の一員として住むに関する項目

理由: 地域コミュニティーができていて仲がいい

※住徒によっては、「通行の邪魔になる」という意見もある。住徒の発言を重視し、プラスまたはマイナス箇所として把握してほしい。

<バイク> ×

理由: バイクの音が大きいと迷惑になる。

改善策: 他者の気持ちに寄り、音の出し方を考える。
音に関するルールを作る。

<布団をたたく女性> ×

理由: 布団をたたく音が迷惑になる。

改善策: 他者の気持ちに寄り、布団をたたく時間を考える。
音に関するルールを作る。

2 環境に配慮した住まい

1、日本の住まい

日本の気候は（¹： 高温多湿 ）で（²： 蒸し暑い ）地域である。そのため、木造で（³： 開放的 ）な住まいが主流であった。しかし、現在では、（⁴： 空調設備 ）などの発達にともない、簡単に室内環境を整えることができるため、日本中に同じような家が建つようになった。しかし、設備機器を使うことにより、電機やガスなどのエネルギーを大量消費し、環境へ（⁵： 負荷 ）がかかっているのである。

2、環境に配慮した住まい

（⁶： 環境共生住宅 ）…周辺の自然環境と調和し、健康で快適に生活ができるように工夫された住宅及びその地域環境のことをいう。

- ①（⁷： 地球環境 ）の保全…（⁸： 省エネルギー 自然エネルギーの利用 ）
- ②（⁹： 周辺環境 ）との調和…（¹⁰： ビオトープ 屋上緑化 ）
- ③健康的で快適な居住形態の形成…（¹¹： バリアフリーなど誰もが住みやすい住まい ）

☆パッシブソーラーシステム…太陽エネルギーを、集熱器などを使わずに直接住まいに取り入れ、内部でエネルギーを上手に利用して環境調整を図るシステムのこと。

○考えよう！「あなたにできるエコを考えよう」

・緑のカーテンを設置する。 ・雨水を有効活用する。 など

※授業をする季節に合わせたエコな住まい方を考えるなど、自由に考えさせてください。

3 騒音

私たちは、音に囲まれて生活をしている。音の感じ方には（¹²： 個人差 ）があり、同じ音でも不快に思う人もいれば、心地よいと捉える人もいる。

遮音の方法

厚い壁、二重窓、分厚いカーペットやカーテン、床・壁・天井に遮音材や吸音材など

生活をしている以上、音の発生をなくすことはできないが、自分が周りの人の迷惑となる音の（¹³： 発生源 ）とならないように配慮し、意識して工夫することで、騒音を軽減することができる。

4 地域の一員として住む

都市やその近郊では、地域や近隣の人間関係が（¹⁴： 希薄 ）になっている。しかし、災害などの（¹⁵： 緊急事態 ）や防犯に対して、（¹⁶： 地域全体 ）でとりあつて取り組むことが望ましい。そのため、日ごろから、地域の人と交流をし、（¹⁷： 地域コミュニティ ）を形成することが必要である。

また、地域の活性化や地域環境の整備を目的とし、住民が自分たちの住むまちを（¹⁸： 一緒 ）に点検したり、話し合ったり、さまざまな作業を通して、まちのあり方を具体化していくことを（¹⁹： まちづくり ）という。それに加え、地域にあった（²⁰： ルール ）を考え守ることで、気持ちよく生活を送りましょう。

5 住生活に関わる法令

住宅や都市の計画的な整備を進めるために、さまざまな（²¹： 法制度 ）が用意されている。

<法制度の例>

*建築基準法：建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する（²²： 最低基準 ）を定めて、国民の生命や健康、財産の保護を図ることを目的とした法律。

*都市計画法：（²³： 健康 ）で（²⁴： 文化的 ）な生活ができるように、計画的な市街地開発や道路・公園・下水道などの施設設備の基本的なあり方を定めた法律。

*景観緑三法：都市や農山漁村などにおける良好な環境の形成や景観の形成、（²⁵： 緑地の保全 ）などに関わる法律。

6 これまでの学習をふまえ、1で発見した問題点の改善策や、新たな問題点や良い点がないか探し、鳥瞰図に書き込みましょう。

教科書対応表

ワークシート①

ワークシート②

ワークシート③

教科書対応表
ワークシート①

家庭基礎		1 住まいとは		3 日光と採光		4 通気と換気		5 室内環境汚染	
		ページ		ページ		ページ		ページ	
東京書籍	40			143	日光と採光	144	通気と換気	146	室内環境汚染
教育図書	41	138	人間にとって住まいとは	147	日照・採光・照明と明るさ	149	換気・通気ときれいな空気	149	コラム・シックハウス症候群
	42	6～7	生活はどこにでもある/今の生活をしっかりと見つめよう	14	住宅内の環境	14	住宅内の環境	14	住宅内の環境
実教出版	43	138	住まいの機能	142	日照と採光	143	通風・換気と結露	144	化学物質による室内汚染
	44	130	住まいは人間生活の基盤	136	日照・採光・照明照明	135～136	化学物質による健康被害を防ぐ/換気・水蒸気・湿度/室内の温度・気流	135～136	化学物質による健康被害を防ぐ/換気・水蒸気・湿度/室内の温度・気流
開隆堂	45	144	住まいの機能	151	日照と採光	152～153	室内気候の汚染と換気	152～153	室内気候の汚染と換気
大修館	46	150	住居の役割	154	日照・採光・照明	155	通気・換気	156	化学物質など
	47	124	住居の役割	128～129	住居の明るさ/住居の心地よさ	129	住居の換気	129	住居の換気
第一学習社	48	142	暮らしにふさわしい住まい			146～147	結露の発生と対策	147	シックハウス症候群と化学物質過敏症

家庭総合		1 住まいとは		3 日光と採光		4 通気と換気		5 室内環境汚染	
		ページ		ページ		ページ		ページ	
東京書籍	31			198	日照と採光	199	通気と換気	201	室内環境汚染
教育図書	32	176	人間にとって住まいとは	189	日照・採光・照明と明るさ	191	換気・通気ときれいな空気	191	コラム シックハウス症候群
	33	8	住生活とは/家族と住まい/図1			19	住宅内の環境	19	住宅内の環境
実教出版	34	182	住まいの機能/図1	191	日照と採光	192	通風・換気と結露	194	化学物質による室内汚染
	35	172	自分らしく住む/住まいは生活の基盤	184～185	日照・照明	183～184	換気・水蒸気・湿度	182～184	住まいと健康/化学物質による健康被害を防ぐ
開隆堂	36	182	住まいの機能	190	日照と採光	192	室内空気の汚染と換気	192	室内空気の汚染と換気
大修館	37	176	住居の役割	180～181	住居の明るさ/住居のこちよさ	181	住居の換気	181	住居の換気
	38	180	暮らしにふさわしい住まい	190	自然環境と住まいの工夫	191	結露の発生と対策	191	シックハウス症候群
第一学習社	39	192	人と住居	196	日照・採光・照明と明るさ	197	通風・換気と結露	198	化学物質など

教科書対応表
ワークシート②

家庭基礎	1 LDKとは		3 家庭内事故				4 災害と住まい				5 住まいの維持管理	
			3 家庭内事故		バリアフリー		自然災害		人為災害			
	ページ		ページ		ページ		ページ		ページ		ページ	
東京書籍	40		150	家庭内事故	151	住まいのノーマイゼーション	148	自然災害と住まい	149	人為災害と住まい	147	住まいの保全／集合住宅の維持管理
教育図書	41	23 居住水準とライフステージ	144	家庭内事故への対策	143・152～153	みんなにやさしい住まい／全てのの人にやさしいまちづくり	146	火災・自然災害への対策	145～146	防犯／火災・自然災害への対策	150	住まいの劣化と維持管理／日常の手入れ
	42	139 住まいと文化	13	家庭内事故を防ぐために	20	ユニバーサルデザインとバリアフリーデザイン	13	家庭内事故を防ぐために	13	家庭内事故を防ぐために	12～13	汚れを探してみよう／集合住宅のメンテナンス
実教出版	43		145	家庭内事故に安全対策	146	生活しやすい住まい	145	災害の実態と安全対策	145	災害の実態と安全対策	147	住まいを管理する
	44		137	安全な住まいと自律			138	住まいと防災	138	住まいと防犯	141	second stage・よりよい住生活に向けて
開隆堂	45		154	家庭内事故と安全対策	147～148	ライフステージと住まい	155～156・161	災害と安全対策／安全対策／災害マップをつくる	155～156・161	災害と安全対策／安全対策／災害マップをつくる	156	住まいの損耗と維持管理／マンションの共同管理
大修館	46				159	バリアフリーの住環境	158	防災・防犯	158	防災・防犯	157	計画的な維持管理／住居の管理方法
	47		131	安全に配慮した住居	133～134	だれもが暮らしやすい住居づくり・まちづくり	130	住生活の安全	130	住生活の安全	131	住居の維持管理
第一学習社	48		148	家庭内事故と対策	154～155	ケーススタディ・住まいのバリアフリーチェック	148～149	災害と対策	148～149	災害と対策	152	住まいの耐久年数とメンテナンス／集合住宅の維持管理

家庭総合	1 LDKとは		3 家庭内事故				4 災害と住まい				5 住まいの維持管理	
			家庭内事故		バリアフリー		自然災害		人為災害			
	ページ		ページ		ページ		ページ		ページ		ページ	
東京書籍	31	194 平面図を読む	206	家庭内事故	207	住まいのノーマイゼーション	204	自然災害と住まい	205	人為災害と住まい	202～203	住まいの点検と整備／住まいの清掃と修繕／集合住宅の維持管理
教育図書	32	179～180 間取りの変化	168	家庭内事故への対応	185／196	みんなにやさしい住まい／全てのの人にやさしいまちづくり	188	自然災害への対策	187／188	防犯／火災・自然災害への対策	192／193	住まいの劣化と維持管理／日常の手入れ
	33	22 LDKの関係/LDKの関係	15	家庭内事故を防ぐために	28	ユニバーサルデザインとバリアフリーデザイン					14／15	汚れを探してみよう／集合住宅のメンテナンス
実教出版	34	186～187 LDKのタイプ	196	家庭内事故と安全対策	197	生活しやすい住まい	195	災害の実態と安全対策	195	災害の実態と安全対策	198	住まいを管理する
	35		186	自立を支える住まい	186～187	自立を支える住まい／STUDY	187	住まいと防災	188	住まいと防犯	189	住まいの手入れ／共同の維持管理
開隆堂	36		194	家庭内事故と安全対策	185～186	ライフステージと住まい	195	災害と安全対策	195	防犯対策	196	住まいの損耗と維持管理／マンションの共同管理
大修館	37		182	安全に配慮した住居	194	だれもが暮らしやすいまちづくり	182～183	防災・防犯への対応	182～183	防災・防犯への対応	184	住居の維持管理
	38		192	家庭内事故と対策	186	加齢に配慮した住まい	192～193	災害と対策	192～193	災害と対策	198	住まいの耐久年数とメンテナンス／集合住宅の維持管理
第一学習社	39	194 住生活の変遷	200	安全に配慮した住まいかた	200・207	安全に配慮した住まいかた／バリアフリーの住環境	199	住居と安全	199	住居と安全	201	計画的な維持管理／住居の管理方法

教科書対応表
ワークシート③

家庭基礎	2 環境に配慮した住まい										3 騒音		4 地域コミュニティとまちづくり		5 地域生活とルール		6 住まいや地域に関する法令		
	1 日本の住まい				2 環境に配慮した住まい														
	ページ				ページ				ページ		ページ		ページ		ページ				
東京書籍	40	152	風土と住まいの文化		153	環境共生住宅		145	騒音と遮音		155	発展・住民参加のまちづくり							
教育図書	41	139	気候風土・生活様式に適した住まい		154～155	環境にやさしい住生活／環境共生のための住まい		148	騒音と静けさ		152～153	すべての人にやさしいまちづくり／住民がつくる・地域でつくる		152	住民としてのマナー		153	住民がつくる・地域でつくる	
	42				22	住宅のまわりの「環境」					24	あなたが参加するまちづくり					144	化学物質による室内環境汚染	
実教出版	43				150	持続可能な住まいづくり		144	騒音としゃ音		149	まちづくり		149	近隣と住まい方のルール		134～135/150	住まいの権利/健康な住み方/(共生可能な住まい)	
	44							136	騒音と遮音・防音		139～140	コミュニティの役割/まちづくりへの参加/まちづくりを推進する市民活動団体		139	美しい景観				
開隆堂	45	145	気候・風土と住まい		157	自然との共生		153	騒音と遮音		159～160	住民参加のまちづくり					157～158	住まいと社会的環境	
大修館	46				162	生活を取り巻く環境に調和した住生活		155	遮音・騒音		161,163	地域社会とのつながり/ともに暮らす/住民参加のまちづくり		161	住まいかたのルール				
	47	124	気候風土と住生活		134	環境に調和した住まいかた		129	住居の静けさ		133～134	住環境と地域社会/だれもが暮らしやすい住居づくり/まちづくり		133	住環境と地域社会				
第一学習社	48				150～151,156	環境共生住宅/テーマ学習・人と地球にやさしい住まい					153	住みよさは/防犯に配慮した住環境							

家庭総合	2 環境に配慮した住まい										3 騒音		4 地域コミュニティとまちづくり		5 地域生活とルール		6 住まいや地域に関する法令		
	1 日本の住まい				2 環境に配慮した住まい														
	ページ				ページ				ページ		ページ		ページ		ページ				
東京書籍	31	208	風土と住まいの文化		209	環境共生住宅		200	騒音と遮音		201	住民参加のまちづくり					198	日照と採光(建築基準法の記述あり)	
教育図書	32	177/178	気候風土・生活様式に適した住まい/自然環境を生かした住まい		198～199	環境にやさしい生活/環境共生のための住まい		190	騒音と静けさ		196/197	すべての人にやさしいまちづくり/住民がつくる・地域でつくる		195	住民としてのマナー		197	住民がつくる・地域で作る	
	33				30	住宅の周りの「環境」					32/33	住民とまちづくり/あなたが参加するまちづくり					33	あなたが参加するまちづくり	
実教出版	34	182～183	風土と住まいの文化		203	快適な住生活全てのの人に(B 持続可能な居住)		193	騒音と遮音		202	住みやすい地域社会		201～202	近隣と住まい方のルール		203	快適な住生活を全てのの人に(A 居住の保障)	
	35	174～175	気候・風土と住まい/伝統的な住み方と引き戸の文化/十分かの伝承地域に根ざした住まいづくり		193/巻末資料	環境共生住宅/地域環境との共生/		185	騒音と遮音・防音		173・190～192・195	住まいはまちをつくる/住居の集合化・高層化/地域・まちに暮らす/ノーマライゼーションの視点/安心・安全の地域環境/美しく気持ちの良い地域環境/様々な住民との地域環境づくり/まちづくりに参加する		173・190～192・195	住まいはまちをつくる/住居の集合化・高層化/地域・まちに暮らす/ノーマライゼーションの視点/安心・安全の地域環境/美しく気持ちの良い地域環境/様々な住民との地域環境づくり/まちづくりに参加する		183	補足説明●2	
開隆堂	36	183	気候・風土と住まい/伝統的な住み方と引き戸の文化/住文化の伝承地域に根ざした住まいづくり風土と住まい		198	自然との共生		193	騒音		200～201	住民参加のまちづくり					198～199	住まいと社会的環境	
大修館	37	176	気候風土と住生活		192～193	環境に調和した住まいかた		181	住居の静けさ		194～195	だれもが暮らしやすいまちづくり/住民参加のまちづくり							
	38	182	わが国の気候・風土と住まい		196～197	環境共生住宅		190	自然環境と住まいの工夫		194～195	住みよさは/地域コミュニティの大切さ/防犯に配慮した住環境					192/193	災害と対策	
第一学習社	39	208	生活を取り巻く環境に調和した住生活		193	気候風土と住生活		197	遮音・防音		206・207	地域社会とのつながり/地域社会の防災・		206	住まい方のルール		198	化学物質など	

ワークシートの使用に関する提案

授業実践や教員を対象として行ったワークシートの評価に関するアンケートを参考にし、ワークシートをより使いやすくする方法を提案します。ワークシートを使用される場合は参考にしてみてください。

①ワークシートは部分的な使用

ワークシート①②③を使用していただくことで、高等学校家庭科住生活分野の学習目標により近づける学習内容としています。しかし、学校の特色や生徒の実態などで全ての使用が困難な場合があると考えられます。その場合は先生方の授業スタイルに合わせて、ワークシート全体の使用・鳥瞰図のみ・知識のみなど、部分的な使用をしてください。

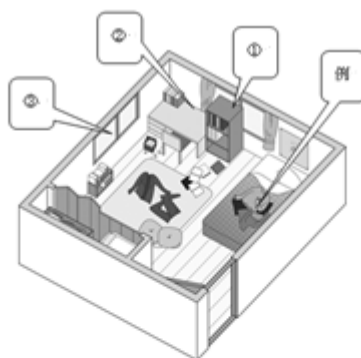
②学習内容の追加や展開

学習項目や学習内容の追加は、教科書や資料集との併用や補足資料の作成などで、内容を深めることが可能です。実際に、深めたい学習内容に関する補足資料の作成や、学校で使用している教科書または資料集と対応させ授業を行ったケースもあります。また、鳥瞰図「家」の平面図を作成し、平面図記号の学習につなげたケースもあります。

③鳥瞰図の使用

鳥瞰図の「問題点」が生徒にとって難しいあるいは書き込みにくい場合は、ヒントを設けることや表などを作成し整理して記述できるようにすることを提案します。また、鳥瞰図の「問題点」はさまざまな生徒に対応できるように、多く設定しています。そのため、全てを発見させる必要はなく、教員が教えたいと考える部分のみを取り上げることも可能です。

<問題点および改善策の記入欄作成の例>



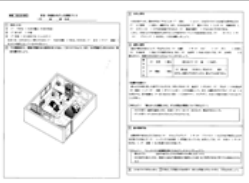




	問題点と思うか？	理由	改善策
例	<input checked="" type="radio"/> YES <input type="radio"/> NO	服がしわになる。部屋が汚い。	たたんで片づける。整理整頓をする。
①	<input type="radio"/> YES <input type="radio"/> NO		
②	<input type="radio"/> YES <input type="radio"/> NO		
③	<input type="radio"/> YES <input type="radio"/> NO		

④鳥瞰図の提示方法

授業実践より、鳥瞰図を拡大提示することで学習をクラス全体で共有できることや、カラーを提示することで生徒の学習意欲が増すことが分かりました。そこで、教員を対象としたインタビューやアンケートを通し、鳥瞰図をカラーや拡大提示できる方法を考えました。

鳥瞰図の提示方法 事例集

基本的には、ワークシートのみで指導ができますが、「鳥瞰図を大きく提示したい!」「カラーの鳥瞰図を使用したい!」という場合には、下記の鳥瞰図の提示方法を参考にしてください。

パターン	方法	イメージ図
基本	ワークシートのみでの指導	
1 鳥瞰図の 拡大印刷使用	鳥瞰図拡大印刷を黒板に貼り、問題点や改善策などを書き込みます。	
2 鳥瞰図の 拡大印刷掲示	鳥瞰図拡大印刷を掲示し、問題点や改善策などは板書します。	
3 プロジェクター の使用	プロジェクターを使い黒板に鳥瞰図を映し出し、問題点や改善策などを板書します。 被服室や家庭科室など、特別教室で行えばプロジェクターを常時設置しておくことが可能です。	
4 グループへの 配布 (カラー印刷)	グループワークにし、グループに一枚カラー印刷したものを配布する。 書き込みをさせると、生徒の記述が残るため、復習などにも使用できます。	
5 グループへの 配布 (ラミネート加工)	カラー印刷した鳥瞰図をラミネート加工することで、ホワイトボードマーカーを使用することができ、繰り返し使うことができます。	